

20 「自分の意見や気持ちを上手に伝えるには」

(小学生作文)

5 (ナレーター) 皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、ハルが小学生の作文をご紹介します。

10 作文のタイトルは、「アサーションの学習」ですが、皆さんは、「アサーション」というコミュニケーションをご存知ですか。

15 ちょっと、家族や友人、仕事仲間と話す場面を思い浮かべてみてください。その時に、相手の話は聞かず、一方的に自分の意見を言うことはありませんか。また、その逆で、相手に気を遣いすぎて、自分の意見を言わない、曖昧な言い方をするといいことはないでしょうか。

20 「アサーション」は、そのどちらでもなく、相手との良好な関係を築きながら、自分の主張もきちんと伝える方法です。そのため、企業での人材育成研修や、いじめ問題に対応する教育現場での活用も増えています。

それでは、この「アサーション」を学んだ小学一年生の作文をお聞きください。

25 私は、アサーションの学習がくしゅうをしました。アサーションとは、自分と相手あいてを大切たいせつにする言い方かたです。アサーションは、いい言い方かただと思いました。

私は、今日きょう、A君くんに、背中せなかを二回にかいたたかれました。すぐに、「やめて。」

30 と、言いおうと思おもったけれど、すぐにいなくなったので、我慢がまんをしました。

でも、今日きょう、アサーションの学習がくしゅうをして、

「どうして、たたくの。痛いたいでしょう。」

と、言いえば良よかったと思おもいました。休み時間やすみじかんに、A君くんに、

「どうして、たたいたの。痛いたいでしょう。」

35 と、言いってみました。すると、

「ごめんなさい。」

と、謝あやまってくれました。すっきりしました。これからは、言いにくいかもしれないけれどアサーションの言いい方かたができるように頑張がんばりたいです。

40

(ナレーター)「どうして、たたいたの」と問といかけ、そのあと「痛いたいでしょう」と自分じぶんの気持きもちも伝つたえることができた小学しょうがく一年生いちねんせい。

45

「ごめんなさい」と言いってもらえて、モヤモヤが晴はれたんですね。こんなふうに、自分じぶんの意見いけんをうまく伝つたえることができたなら、周りまわの人ひととの関かん係けいも、少すこしずついい方向ほうこうへ進すすみそうですね。